

# 受け継いでいく 先人の挑戦する心

## 南

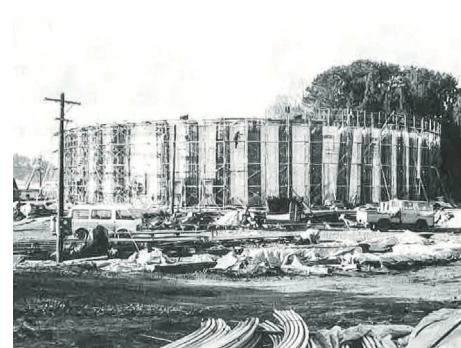
極探検隊長白瀬蘆は、昭和21年（1946）9月4日、愛知県西加茂郡拳母町（現在の豊田市）で激動の生涯に幕を閉じました。彼の命日にあわせ毎年行われていた白瀬・南極フェアですが、今年は今も感染拡大が続く新型コロナウイルス感染症の影響により残念ながら中止となりました。文久元年（1861）6月13日、浄蓮寺の住職・白瀬知道と妻・マキエの長男として生を受

け、類まれなるチャレンジ精神の果てに明治45年（1912）1月28日、南緯80度05分・西経156度37分に到達。氷の大地に日章旗を立て見渡す限り一帯を「大和雪原」と命名しました。そして、白瀬蘆と南極探検隊の世界的かつ歴史的な偉業を後世に伝えようと白瀬南極探検隊記念館が平成2年（1990）4月21日にオープン。多くの来館者や関係者に支えられて今年で30年目の節目を迎えました。

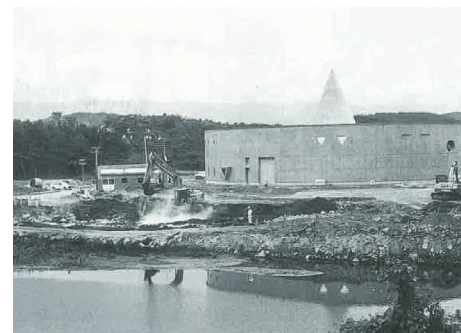
※4月20日にオープンセレモニーが行われ翌21日に一般開放されました。

## 氷

山をイメージした円錐形のオーロラドームは白瀬南極探検隊の厳しく崇高な偉業を示し、それを囲むドーナツ形は探検隊全員のチームワークを表現、さらには地球と太陽系の宇宙も暗示している。建築家・故黒川紀章氏は設計の狙いをこのように述べています。黒川紀章建築都市設計事務所白瀬潤氏が白瀬蘆の孫（三男・猛の長男）だったことが縁で実現した世界的建築家によるデザイン。昭和63年（1988）8月に着工、本体工事と外構工事そして展示工事を経て平成2年（1990）3月、白瀬蘆の生



昭和63年（1988）12月末、敷地造成工事、基礎工事を終え上部躯体（展示棟）工事に入る。—平成元年1月15日発行「広報このうら」より



平成元年（1989）3月で本体工事は完成。同年7月から外構など敷地周辺工事を着工。—平成元年8月1日発行「広報このうら」より



偉人を後世に継ぐ人たち  
**JIN**  
feature articles

偉人特集  
白瀬南極探検隊記念館 開館30周年記念  
南極探検隊長白瀬蘆を今に伝える

にかほ市が誇る郷土の偉人、斎藤宇一郎、斎藤憲三、白瀬蘆、池田修三たち。偉人特集では彼らを後世に継ぐ人たちにスポットをあてその想いを紹介します。

平成2年（1990）4月20日、オープンセレモニーを上空から撮影。故黒川紀章・若尾文子夫妻や当時の秋田県知事夫妻、故村山雅美氏（白瀬南極探検隊記念館名誉館長、第9次南極観測隊で日本人で初めて南極点到達）、楠宏氏（白瀬南極探検隊記念館最高顧問、第1次南極観測隊から参加）、映画「南極物語」タロ・ジロ役の樺太犬も北海道稚内市からテープカットに駆けつけました。（写真提供：秋田魁新報社）

## 白瀬南極探検隊記念館 開館30周年ミニイベント

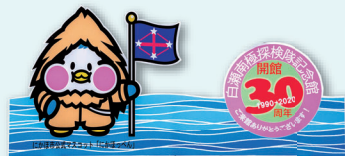
### ▶オリジナルポストカードプレゼント!

当館の見学や旅の思い出に4種類の中から好きなものお一人様1枚をプレゼント!



### ◀ウェルカムボードでお出迎え!

白瀬蘆の毛皮にかほっぺんが来館者をお出迎え。フォト・スポットとしてもご利用いただけます!



- 企画展Ⅰ「昭和の白瀬南極探検」開催中!
- 企画展Ⅱ「学術部長・武田輝太郎」開催中!
- ミニ企画展「めしあげ!と白瀬南極探検」開催中!

## 白瀬南極探検隊記念館

▷開館時間…9:00～17:00（入館は16:30まで）  
▷休館日…月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）  
▷入館料…一般300円、小中学生200円（20人以上は通常の100円引き）  
※にかほ市内小中学生は入館無料です。展示案内もまいりますのでお気軽にお声掛けください。  
※入館時の新型コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いします。QRでご確認ください。白瀬南極探検隊記念館HP



## 我

れ無くも かならず探せ南極の 地中の宝 世にいだすまで、これは白瀬蘆辞世の句です。地中に埋めた宝である先人の挑戦する心を忘れることなく受け継いでいってほしいという彼の想い。それは白瀬南極探検隊記念館の存在や南極観測船の名称が2代続けて「しらせ」であることなど、かつての金浦町民や子どもたちの想いが、目に見える形あるものとして実現しています。また、白瀬南極探検隊の大和雪原到達100周年を記念し、平成22年（2010）から行われた白瀬日本南極探検隊100周年記念プロジェクトでは、国

立極地研究所や歴代の南極観測隊員の皆さんなど多くの支援により全国各地で企画展や講演会を展開し大成功を収めています。そして、白瀬南極探検隊の悲願であった南極点到達を成就させるため、白瀬ルート単独徒歩による南極点到達を目指す、夢を追う男・阿部雅龍氏の登場など、これからも挑戦する心は脈々と受け継がれているようです。本号では、白瀬南極探検隊記念館の開館30周年を記念し、南極探検隊長白瀬蘆顕彰会顧問で生前の白瀬蘆と実際にお会いしたことのある齋藤充氏と、同会長の小柳伸光氏に、白瀬蘆を今に伝える想いを伺いました。